

テーマ：「**尼崎双星高校の魅力をお伝えします！**」  
(市立尼崎双星高校高校放送部)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。

それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

末次 皆さん、こんにちは。尼崎市立尼崎双星高等学校放送部の3年の末次香澄です。

兵頭 2年の兵頭俊平です。

三廉 1年の三廉俊です。

全員 よろしくお願ひします。

末次 双星高校の魅力をお伝えするこのコーナーですが、そもそも「双星って何だよ？」という方のために、学校説明をサクッと、三廉君、よろしく。

三廉 はい。私たちの通う、尼崎市立尼崎双星高等学校は、尼崎東高校と尼崎産業高校が統合してできた学校です。双星高校は、普通科、商業学科、ものづくり機械科、電気情報科の4つに分かれている学校で、それぞれ専門的な技術を学ぶことができます。

部活動も盛んで、「近畿ビーチバレーボールジュニア大会」に出場した男女バレーボール部など、多くの部活が地区大会を突破しています。

今年の7月には生徒会選挙も行われ、さらにより良い学校づくりを目指しています。

兵頭 ここで、クイズ。双星高校にはナイター照明がありますが、その数は何個あるでしょう。三廉君！

三廉 そうですねー。いつも見てるんですけどね。覚えてるかって言われたら、大体7個ぐらいかな。

兵頭 惜しいですね。正解は8個です。

三廉 うわー、一個、一個間違いでした。

末次: いやー、三廉君、すごい惜しかったですねー。

そういえば、さっきも言ってたけど、バレー部すごいね。

三廉 生徒会本部もすごいですよ。文化祭に体育大会に大忙しで。

兵頭 皆さん、気になりますよね。というわけで、今回、男女バレーボール部、生徒会の皆さんに、インタビューをしてきました。

末次 インタビュアーは、放送部1年の秋田君と、3年の宮川君です。

秋田 はい。尼崎双星高校放送部1年の秋田です。今回は、「近畿ビーチバレーボールジュニア大会」に出場したバレーボール部の皆さんに、お話しを伺いたいと思います。それでは順番に自己紹介をお願いします。

多田 男子バレーボール部 2 年の多田です。

浅野 男子バレーボール部 2 年の浅野です。

上原 女子バレーボール部 2 年の上原です。

堀田 女子バレーボール部 3 年の堀田です。

秋田 どうぞよろしくお願いいたします。

バレーボール部 お願いします。

秋田 では、さっそくですが、近畿ビーチバレーボールジュニア大会への出場が決定した時、どんなお気持ちでしたか。浅野さん。

浅野 はい。普段の練習の成果が実り、近畿大会に出られたので、とても嬉しかったです。

秋田 ありがとうございます。堀田さん。

堀田 はい。近畿大会は初めての経験で、すごく嬉しかったのと同時に、「絶対に一つでも勝とう」と思いました。結果は、4 人制の試合で 3 位に入ることができ、とっても嬉しかったです。

秋田 おめでとうございます。次に、普段の練習について教えてください。多田さん。

多田 はい。主に実践をイメージした練習が多いです。

秋田 ありがとうございます。上原さん。

上原 バレーボールというスポーツの特徴である、「つなぎ」を意識しています。また、一人の力ではなく、「このメンバーで勝つ」ということを意識して、練習しています。

秋田 ありがとうございます。バレーボールをしていて良かったことは何ですか。浅野さん。

浅野 はい。試合に勝った時や、二人で話し合ったことが成功した時です。

秋田 ありがとうございます。堀田さん。

堀田 はい。先生に言われたことができなくて、つらかったこともありましたが、何度も練習してそれが達成できた時には、「バレーボールをしていて良かった」と思いました。

秋田 ありがとうございます。最後に、今後の目標をお願いします。多田さん。

多田 はい。来年はビーチバレーボールで全国大会に出場することです。

秋田 上原さん。

上原 はい。インドアでもビーチでも、全国大会を目指していきたいです。

秋田 僕たちも応援していますので、頑張ってください。

バレーボール部の皆さんでした。ありがとうございました。

バレーボール部 ありがとうございました。

宮川 はい。尼崎双星高等学校 3 年の宮川です。今回は、これからの双星高校を担う生徒会の皆さんに、お話しを伺いたいと思います。それでは、順番に自己紹介をお願いします。

栗栖 尼崎双星高等学校生徒会長の栗栖です。

高吉 書記長の高吉です。

福田 副会計長の福田です。

宮川 どうぞよろしくお願いいたします。

生徒会 お願いします。

宮川 では、さっそくですが、今年の 7 月上旬に生徒会選挙が行われましたが、見事当選した時の心境はどうでしたか。栗栖さん。

栗栖 はい。「生徒会に入りたい」と思い始めたのが 1 年生の中頃で、当選した時は、嬉しさと、「これからの双星高校の中心になる」という覚悟を、改めて感じました。

宮川 おめでとうございます。

栗栖 ありがとうございます。

宮川 高吉さん。

高吉 はい。当選した時は、自分に務まるのか不安でいっぱいでしたが、自分にできることを精一杯頑張ろうと思いました。

宮川 頑張ってください。

高吉 ありがとうございます。

宮川 じゃあ福田さん。

福田 はい。生徒会の皆さんと力を合わせて、一生懸命頑張ろうと思いました。

宮川 僕らも協力させていただきます。

福田 お願いします。

宮川 普段の活動内容は何か。高吉さん。

高吉 はい。主に「生徒会通信」の発行や、行事の運営・準備を行っています。

宮川 大変ですね。10月に行われた体育大会についてお聞かせください。福田さん。

福田 はい。雨が降り、中止になってしまい、最後までできずに終わってしまいましたが、それも含めて、いい思い出になったと思います。

宮川 もし雨が降っていなかったら、どのようなことをされていたんですか。

福田 はい。騎馬戦や、全校生徒によるフォークダンスなどを行う予定でした。

宮川 それはとても残念でしたね。今後どのような双星高校にしたいですか。栗栖さん。

栗栖 はい。生徒一人ひとりがルールを守り、豊かで過ごしやすい学校生活を送れるような高校にしたいです。

宮川 はい。よろしくお願いします。

栗栖 お願いします。

宮川 尼崎市立尼崎双星高等学校 生徒会の皆さんでした。ありがとうございました。

生徒会 ありがとうございました。

末次 男女ともに近畿大会に出場するなんて、すごいですね。

三廉 そうですね。前身の尼崎産業高校では、2010年にビーチバレー全国大会で優勝していますし、インタビューからも、普段の練習でとても頑張っているということが、ヒシヒシと伝わってきましたね。

兵頭 生徒会本部も、行事などを頑張っているというのが分かり、今後にも期待がかかりますね。

兵頭 ところで、双星高校の魅力は、他にもありますよね。三廉君。

三廉 はい。僕は今、電気情報科で学んでいるのですが、実際に授業を受けていくなかで、「資格を取得するために学んでいる」ということを、強く実感しています。12月には実技試験があり、合格できれば、初めて資格を取得できます。先生や先輩のサポートのなか、合格に向けてみんなで頑張っている、というのが、双星高校の魅力ではないでしょうか。

末次 確かにね。私も商業学科なんですけど、普段の授業からも、検定の過去問とかもバンバンやっていますしね。じゃあ兵頭君は？

兵頭 僕は、夏も冬も快適に過ごせる冷暖房の設備が素晴らしいと思いますね。授業に集中できて、夏も冬も快適に過ごせて、ついつい、何もなくても学校に来ちゃいますね。

三廉 わかりますよ。僕の家では、もうエアコンとかも点けてもらえないので、学校とかが行くのが楽しみ

です。

末次 あと、ぜひお薦めしたいのが、図書館です。落ち着いた空間で、読書も勉強もとってもはかどりま  
す。私も受験の時、大変お世話になりました。そしてすごいのが、図書館に置かれている本の冊数。  
その数なんと4万冊を超え、これだけの本が置いてあるのは、尼崎市の高校のなかでもNo.1なん  
です。逆に、これだけ本が多いと「探すのが大変」と思われるかもしれないんですが、でも大丈夫なん  
です。読みたい本をパッと探せるコンピューターも完備しています。実は最近知ったんですけど、な  
んと、DVDも借りることができるみたいなんですよ。どうだ！

三廉 ホントですか。

末次 はい。

三廉 高校でDVDとか、聞いたことないんで、僕知らなかったんで、今度行ってみようと思います。

末次 兵頭君は？

兵頭 僕は.....

三廉 さて、ここまでお送りしてきましたが、そろそろお別れの時間がきてしまいました。双星高校につ  
いてもっと知りたい方は、学校のホームページを覗いてみてください。次は、尼崎双星高校でお会い  
しましょう。それでは、

全員 ありがとうございました！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上